

# ムラケン通信

2013.11月 発行

Vol-115

## 10月のムラケンのデキゴト。



10月のご縁市&ふるさとウォーキング。  
鯖江中学校のプラスバンドの演奏♪



10月17日、日野川にて南部撮影。  
今年もコハクチョウが飛来しました。



ムラケン勉強会の早朝トイレ掃除。  
そうじ後のさわやかな笑顔☆



草むしり前。



うららの家の庭にある  
カリンが黄色くなってきました。



剪定依頼の現場。  
近藤さんの助っ人、南部父。



夏の花、サンパチエンス。  
そろそろ終わりかな☆



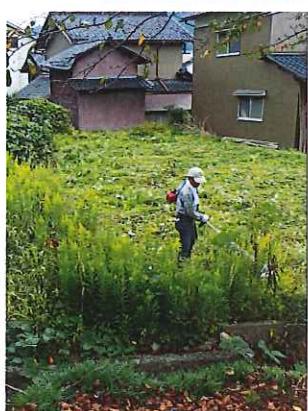
草むしり後。



秋の花、コスモスが  
とてもきれいでした。



きらきらプロジェクト。  
今回の南部の成果(不完全だけど)。



現場で借りる空地。  
近藤さん、草刈中。



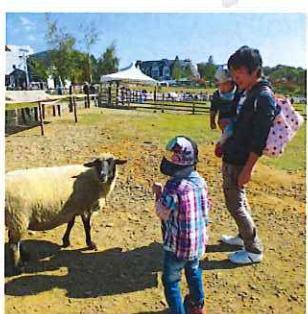
一時帰省した、村上直也さん。  
草むしりの修業もあと少し。



新築工事のプレカットの打合せ。  
何時間も打合せ。お疲れ様です。



きらきらプロジェクト。  
外装について考える…。



岐阜県にある『牧歌の里』。  
水野家、秋の行楽を満喫♪



スポーツの秋！！  
保育園の運動会☆



仕事も家庭も  
充実、充実…  
スキルもアップ★★★



プロの技・リフォーム設計力  
**ムラケン**  
Renovation Professional skill

『社長のひとこと』

今朝もまた新聞のお悔やみの欄には、葬儀は近親者のみで行いましたと書かれています。この頃、家族や近親者のみで葬儀が行われることが多くなってきました。つい数年前までは都会で身寄りがない人や、芸能、文化人の人でファン達が殺到することが予想されたために世間に迷惑を掛けないようになつたが、今ではこの福井の地でも多くなつてきています。なぜでしょうか。

それでも狭い場合には玄関の土間や、縁側から張り出してその葬儀の為だけの床を張ることも多くあります。前は葬式の為に床を張る為大工さんを手配してほしいという仕事がよくありました。家が狭くて出来ない場合はその家の宗派のお寺か、近所のお寺を借りて、あるいはお寺も近くにない場合は町の集会所で行いました。私の両親が亡くなつたのは二人とも平成八年でした。がその時は近所のお寺をお



借りしました。葬儀場で行う場合とでは借りる手が全く違います。受付（帳簿）だけはどちらの場合とも頼まなければなりませんが、葬儀場の場合はその他の事、例えば出席者の食事の世話とかもその会場でませることが出来ますので食事の世話をするおばさんたちを雇ってして頼む必要もありません。両親の時はお通夜のお参りにきてもらつた人達には終わつた後にまで残つてもらい（近所の人、同級生や友達、親戚など近くしてもらつた人）その場所（お寺）で簡単な食事を食べてもらつて、お酒も飲めて色々と故人の事を話してもらつたりしました。それがお通夜です。こちらがお開きにしようと思ふまで続きます。（この時、皆いのおばさんが作った『あぶらざめの煮たの』がすごくおいしかった）ところが葬儀場だと廻り焼きたので最後まで残る人も少なくなります」と案内があるので許も残れません。すぐに誰もいなくなつて故人を偲ぶこともあります。このように葬儀場では多くの人たちの手を借りずに済んでしまいます。まして家族葬なら受付も要らず、近所の人を頼む必要もありません。

事を望まない人が増えてきたという事。このことは逆の見方をすれば人の世話にならなくとも生活していくような社会になつて来たという事です。お金さえあれば着る物も、食べることも、住む場所も不自由しません。極端に言えば、人と会話しなくとも暮らして行けます。社会と深く付き合わなくともいい暮らしは自分や自分の周りだけが気になる今の日本人の風潮を生み出し、その事に歯止めが掛かりません。

また一つには、「死」というものが普段の生活の中で意識する機会が少なくなつてきた事です。これは核家族が増えてお年寄りは家にいなく、体が不自由になると病院か施設に入り静かに亡くなつていくからです。昔のように畠の上で死にたいというのは叶わない夢のようなものです。またお寺さんも死について語らないようになってきました。普段檀家さんと付き合いが薄いせいでしようか、葬儀場ではお通夜でお経をあげても何も語らずにそのまま帰つていく方が殆どです。これでは自分たちも何も考えずに済んでしまいます。



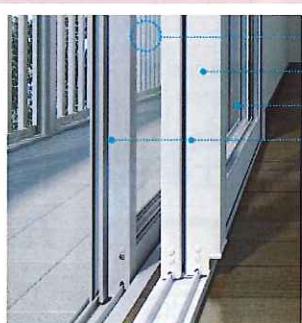
頂いたのですが、次の新聞のお悔やみの欄には載つていませんでした。訳を聞けば近い親戚のみで行うのでその人たちにしか連絡しないとのことでした。亡くなつた人は私の伯母さんで直接血は繋がつていませんでしたが、母方の親戚で小さいころは母に連れられてよくその家に行きいろいろお世話をなつたものです。九十を超えていたので大往生というべきでしょうか。静かに冥福を祈るばかりです。しかし驚いたことは、その亡くなつた伯母さんの息子さん（私にとって従兄になります）が今年の夏に既に亡くなつていたことでした。その時は本当に家族だけで葬儀を済ましたそうです。母が亡くなつてからその親戚とは疎遠になりがちだったのですが、その事を初めて知つた時には何も知らされなかつた事にさみしさを感じました。私はその人の事を何も総括せずに私の人生の中からいつの間にか消し去つていくのでしょうか。この間、親戚の人がいろいろと昔の事を話してくれました。私は話を聞きながら亡くなつた人の事を通して色々な話が聞けます。その人の人生を考え、そしてまた自分の人生を考える。人の死を思う時その事が大切なんだろうなど感じました。

### ★お住まいのワンポイントアドバイス★



## ～冬に向けてのあつたかりフォーム～

すっかりと朝晩寒くなってしまったね。今回は簡単にできるプチリフォームです。寒さ対策のひとつとしておススメしているのが『内窓』の取付です。熱の出入りが多いのが住まいの開口部。内窓を取り付けることで暖房の効きが良くなり、省エネにもつながります。また結露予防にもなり、快適に。当社にて内窓をつけられたS様。悩みは結露。『こんなやついたら、もっと早くにしとけばよかった』とご満足♪



- ・①空気の層で断熱
  - ・②樹脂で断熱
  - ・③ガラスでさらに性能アップ
  - ・④二重構造で防音

今ある窓の内側に取り付けるだけ。結露対策＆断熱対策に内窓はおススメですよ～。(ご相談・お見積りはムラケンまでお気軽におどうぞ。TEL52-6389)



# プロの技 リフォーム設計力！



## 暮らし。変わる。リノベーション。～耐震工事について～

現在、越前市にて耐震工事をさせて頂いています。そのお住まいは約築90年。耐震工事を中心にリフォーム工事もさせて頂きます。このお客様のお住まいも耐震診断を受け、補強プランを作成し補助金を受けての工事となっています。

今回はムラケンが施工した耐震工事の事例を紹介したいと思います。



### ■鯖江市上鯖江K様

洋間のリフォーム工事をするにあたり、その部屋の耐震を強化しました。

←2間の掃き出し窓を1間にし、両側の壁の耐震を強化。また屋根裏から補強金物の取付をしました。K様は窓が多い家なので地震には弱いだろうと思っておられました。大規模な耐震工事はできないものの、可能な範囲での耐震工事をさせて頂きました。



### ■鯖江市上鯖江K様の耐震工事

耐震診断を受けられそれに基づき工事をしました。



↑上3枚の写真、押入れだった場所を解体し、両筋交を入れ補強金物でしっかりと固定し、更に構造用合板を張ります。

←屋根裏の狭いところで、補強金物を取り付けている大工さん。

### ～木造耐震化促進事業～

**対象住宅：**昭和56年5月31日以前に着工した在来工法または枠組壁工法による、一戸建て木造住宅。

#### 【耐震診断・補強プランの支援】

負担額：6,000円（診断及びプラン作成費用6万円のうち残りを市・国・県が負担します。）

#### 【木造住宅耐震費用の支援】

補助金額：住宅全体の耐震改修→工事費の23%（上限110万円）

住宅の部分的耐震改修→工事費の23%（上限30万円）

\*各市町村にて条件、件数（枠）など決まっています。次年度もあると思いますが、その年によって多少内容が変わる場合があります。



### ■鯖江市桜町O様

耐震の診断を受けられ、その翌年に工事をされました。



←2階の壁。既存の壁をめくり、間柱と間柱の間に筋交いを入れ、金物でしっかりと固定。さらに構造用合板を張り強度を高めました。



↑和室の4枚引き戸の一部を耐震壁に。新しい壁の部分に筋交いを入れます。和室の真壁なので、施工も少し複雑です。

↑耐震壁の下の基礎。型枠を組み、コンクリートを流し込んで基礎をし、土台をしっかりと固定します。

### ■鯖江市住吉町S様の耐震工事



着工前は片筋交だった壁。筋交を足して両筋交に。補強金物でしっかりと固定し構造用合板を張りました。



着工前、土台の下に基礎がない状態。型枠をして鉄筋をいれ、コンクリートを流し込み基礎が完成。土台と基礎を固定します。

今月の現場

10月(9/21~10/20)完成のお客様

ありがとうございました!!

鰐江市水落町玉木様	蜂駆除・剪定工事
鰐江市屋形町浅野様	給湯器交換工事
鰐江市屋形町横井様	換気フード取替え工事
吉田郡永平寺町細川様	瓦修繕工事
鰐江市桜町岡田様	雨樋修繕工事他
鰐江市屋形町池田様	バルブ取替工事他
鰐江市住吉町長田様	勝手口ドア修繕工事



■雨樋修繕工事

雨樋を新しく取替させて頂きました。



## ■外構工事

駐車スペースを延長するとの事でコンクリート打設のご依頼。



■蜂駆除・剪定工事

垣根の中にスズメバチが巣を作っていました。蜂駆除後、剪定工事をさせて頂きました。

んでいたのかと思つた。跡地は高台にあり、萩の城下が一望でき、彼方には日本海の地平線が遠くに見えた。松陰はこの地平線眺めながら、何を思つて育つたのだろうかと考えた。

次に野山獄の跡地を訪れた。松陰や晋作が囚われていた武士の牢屋で、道を挟んだ向かい側には、金子重之助の庶民が入つていた岩倉獄の石碑が立つていた。松陰はこの獄に二回閉じ込められて、囚人達

当時は女性も国（長州藩）のために御役に立とうと必死になつてゐた思いが感じられた。

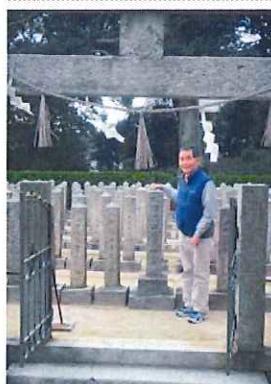
次に女台場を訪れた。この台場は下関の戦いで、関門海峡に浮かぶイギリス戦艦と戦う為の砲台を構築するために、武士の奥方が集まり平地に土を運び、盛り上げて作られた台場だった。並べられた大砲は木製の見せかけの物だったが、

義をしていたとのこと。

二日目は九時にホテルを出て明倫館へ行く。明倫館は江戸時代に開設された武士の学校で、現在も残つており大和先生はこの学校の卒業生だと言つておられた。古い明倫館の前には立派な唐門が立つていた。大和先生はこの学校で学び、十歳の時に天からの天命を聞き、この道に入つたと言われた。

それから高杉晋作の誕生地を訪問した。晋作の屋敷は城の近くに在る上士の家で、松会の家とは雲泥の差があつた。

めらいもなく登り切つた。その奥には整然と並んだ石碑が立つていた。先生の説明では、松下村塾の命を落とした塾生の碑だと言われた。



さく

# ★お店・会社紹介★

~鳥屋 萬年堂さま~



萬年堂さんのご主人。  
いろいろと話を聞かせて頂きました。

創業は大正15年(昭和元年)、87年が経っています。ご主人で2代目となり、昔から地域の皆さんに親しまれてきたお菓子屋さんです。

初代であるご主人のお父さんは、東京で修業をしたのち、福井に戻り、現在の場所にお店を構えました。東京で修業したお店の名前を使用し、『亀屋萬年堂』と付けたとか…。

ご主人は高校を卒業後、洋菓子の勉強をするため、東京に行かれましたが、半年後、お父さんが危篤との知らせを受け、福井に戻ることに。その後はお店に入り、病気の治ったお父さんからいろいろと学ばれました。(今思えば、もっと洋菓子の勉強ができていたら、変わっていたかなあと思うこともあるそうです。)『どの仕事も同じやと思うけど、やっぱり好きでないとやれない。作ってみて美味しかった。お客様から美味しかったって言ってもらえるのがうれしい』とご主人。結婚されてからは奥様と二人三脚でお店をきりもりされ、現在は娘さんご夫婦を合わせ家族4人でお店をされています。

みなさん、ワッフル美味しかったですよ～～～☆☆☆



←萬年堂さんと言えば『ワッフル』ですよね～☆創業当時と同じ型を今も使っています。インタビューに行ったこの日も、残り3個! 取材中に来たお客様が買つてしまい…。でも! 頼んだら作ってくれました♪。品切れの場合があるので、電話で前もっての予約を入れると用意してくれるのです☆



↑地域のお客様が多いので、リピーターの方がほとんど。ずっと同じ商品では新しいお菓子を考えておられます。パウンドケーキも美味しいそう♪冬と言えば『氷ようかん』11月終わりから販売されるそうですよ!

私は家事以外に日課にしている事があります。環境整備とまでは言えませんが、浴室(ユニットバス、以下UB)と脱衣室の掃除を行つて、アドバイスする機会がありまど。毎日します。倒れるほどお酒を飲んだ日は別ですけど:(笑)。

月刊ミズノ「ザ・現場管理月記」  
VOL.46

UBの改装前にお客様とショールームなどに行って、アドバイスする機会がありまど。浴槽の色はもちろん、壁や床の色など選ぶものが多いです。お客様それぞれの好みがあるので私が色まで限定して勧めませんが、『暗い色は水垢や汚れが目立つ分、たくさん掃除しますね。』と言います。要は水廻り設備であるUBや洗面台、便器などは暗い色ほど汚れを隠してしまふと言う事をアドバイスします。でも、せつかくの新築や改装の場合、やはり重厚感や高級感のある暗い色を選ぶ方が平均的には多いです。現に私の自宅UBも正面壁と床はグレー系の色を選びました。

二つのスポンジを使い分け、浴槽やカウンターは毎日掃除しますが、床は一日置きくらい。壁や扉は週に三回ほど。でも胸から上の壁や天井はまるで手を付けていないので、ちらほら汚れが目立つようになります。床は汚れが見えなくとも、足の感覚で汚れ(ヌメリ)がわかりますが、さすがに正面の石張り調に見せた壁は汚れがないし、触つてもわからない…。でも他三面のホワイトの壁は汚れがよく見えるで、やはり同じだけ正面の壁も汚れている

十四時間回しています。

トラブルでよくお客様のUBを見ますが、日々の手入れの掛け方は一目でわかります。排水口を毎日掃除して髪の毛一本もないお宅もあれば、浴槽横のエプロンをして掃除するお宅もあります。何年経つても、いつ行つてもきれいなUBにはホント驚かされます。私自身の経験やお客様の掃除の秘訣・方法を元に、掃除や手入れに

対してもこれからアドバイスしていくたらと思つています。

毎年行っている小松基地の航空祭。道のりは渋滞で大変でした(泣)。



→初めて行った岐阜県にある牧歌的里。いろんな動物とふれあえ、ほほのぼのとして楽しめたです。

んだなど気付かれます。翌日も気持ちよく入りたいという思いよりもUB自体が長持ちするようにとの思いで私は掃除します。メーカー側から言われているUB本体の寿命(水栓金具等は除く)は十五年前後ですが、手入れ次第では二十年も三十年もそれ以上も大丈夫だと思います。あと、内

